

# 小さな群れ

カトリック美唄教会  
2018年11月 No.258  
2018年10月28日発行

## 死者の月

ナルチゾ神父

カトリック教会では11月を、「死者の月」として、亡くなった方々のためにお祈りを捧げます。



キリスト教において、死は神のみもとに帰り、永遠の命に与かることだから、亡くなった人の魂が永遠に安らかに憩うように祈りを捧げるのであって、人間の魂、霊魂は『無くなりません』。



亡くなった方々が天国に入るためには、その霊魂があらゆる罪の穢れから清められ、神のみもとで永遠の幸福に与かることができるように、生きている。私たちが死者のためにお祈りをし、逆に、死者が私たちのために神に執り成してくださっていることを信じています。

生きている私たちにとって大切にしているのは、「心」です。私たちが気をつけないと「心」も亡くなってしまいます。

いつ心が亡くなるかという、「忘れてしまう」時、「忙しすぎる」時です。」と漢字を使いながら私たちに、「愛をベースに豊かな心、深い知性を持つ人間」を目指しているだから、「愛をベースに豊かな心」を大切に生きてほしいと教会は勧めてくれます。

私たちはいつか親しい人とこの世で別れなければなりません。その日いつ来るか誰も分かりませんが、それは神様の領域ですね。私たちはこの世で限られた命を生きています。

いつ親しい人との別れが来るかもしれませんが、「ごめんなさい」と「ありがとう」だけは、後悔しないように相手にいつも伝えておきたい言葉ですね。

2018年11月 主日ミサ・平日のミサ 予定

11月は死者のための祈りをします。P31 先読みは小川ますみさんです

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
2	金		午前 10:30	聖書に親しむ (ミサ後)	施設訪問 死者の日
4	日	年間第31主日	午前 11:00		
9	金		午前 10:30	聖書に親しむ (ミサ後)	
11	日	年間第32主日	午前 11:00		ミサ後、運営委員会
16	金		午前 10:30	聖書に親しむ (ミサ後)	
18	日	年間第33主日	午前 11:00		
21	水		午後 6:00	ロザリオの祈り	聖堂にて
23	金		午前 10:30	聖書に親しむ (ミサ後)	
25	日	王であるキリスト	午前 9:30	黙想会(ルカ神父)	昼食は運営委員会で 用意します
30	金		午前 10:30	聖書に親しむ (ミサ後)	

《 平日のミサ 》	金曜日のみ 午前 10:30 2、9、16、23、30日
《 聖書を親しむ 》	平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。
《ロザリオの祈り》	21日(水)夕6:00 より聖堂にて

霊名の祝日		清掃当番
11/17 エリザベト	加賀秀子 菅野 瞳 船野美津子	【第2週】 船野
11/22 セシリア	中村信子	【第4週】 小川ますみ 建部

◎11月は死者の月ですので、亡くなられた家族、知人の為、故人をしのび死者ミサを神父様に直接依頼して下さい。

◎25(日)待降節に向けての「黙想会」を予定します。

9時30分からミサで、終了後10分の休憩、その後1時間の講話、終了後1時間休憩、昼食、懇談会を予定。

終了時間は午後2時を予定しています。